

《担当者名》冨家 直明 (tomie@hoku-iryu-u.ac.jp) 百々 尚美 柳生 一自 金澤 潤一郎 本谷 亮

【概要】

博士論文の研究テーマの設定、研究計画の作成と研究の実施及び研究成果の学術雑誌への投稿指導が研究指導教員により行われ、これらの研究内容を基に博士論文の指導が行われる。研究分野は臨床心理学、小児精神医学、生理心理学、発達心理学、医療心理学である。

【学修目標】

本単位の修得にあたっては、博士論文審査会の中間報告及び最終報告会における発表と審査を受け、合格する必要がある。審査要件は以下の通りである。

心理科学研究科臨床心理学専攻博士課程の学位授与方針が定める、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として自律できる者と認められるに相当する内容および水準であることに加えて、北海道医療大学学位規程、同大学院心理科学研究科学位規程施行細則に基づいた手続きを経て提出された学位論文（博士論文）に対して、以下の（１）～（１１）の基準に則して審査を行う。

- （１）問題意識、研究目的及び研究テーマを明確に設定できる。
- （２）研究テーマに関連する国内・国外の先行研究のレビューを適切に行うことができる。
- （３）研究目的、研究テーマに沿って妥当な研究方法を採用することができる。
- （４）博士論文として適切かつ十分なデータを収集することができる。
- （５）研究方法で示されている分析を適切に行い、結果として提示することができる。
- （６）結果に基づき、必要かつ十分な文献を引用し、適切な考察をすることができる。
- （７）首尾一貫した論理構成の論文を書くことができる。
- （８）十分かつ適切な論文の記述であり、規程の様式に沿った論文を書くことができる。
- （９）独創性を有し、当該研究分野の発展に寄与する論文を書くことができる。
- （１０）研究の実施、結果の公開において倫理的な配慮をすることができる。
- （１１）十分な学術的価値を有し、博士論文との整合性も高い基礎論文を１本以上提出することができる。

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

心理科学研究科臨床心理学専攻博士課程の学位授与方針が定める、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて、社会に貢献できると認められるに相当する内容および水準であることに加えて、北海道医療大学学位規程、同大学院心理科学研究科学位規程施行細則に基づいた手続きを経て提出された学位論文（博士論文）に対して、以下の（１）～（１１）の基準に則して審査を行う。なお、博士論文の提出にあたっては、申請者を筆頭著者とした査読付き学術雑誌に掲載、もしくは掲載が確定した論文を、博士論文を構成する一部を成す基礎論文として１本以上有していることが求められる。

- （１）問題意識、研究目的及び研究テーマが明確である。
- （２）研究テーマに関連する国内・国外の先行研究のレビューが適切に行われている。
- （３）研究目的、研究テーマに沿って妥当な研究方法が採用されている。
- （４）博士論文として適切かつ十分なデータが収集されている。
- （５）研究方法で示されている分析が適切になされ、結果として提示されている。
- （６）結果に基づき、必要かつ十分な文献を引用し、適切な考察がなされている。
- （７）論文は首尾一貫した論理構成になっている。
- （８）論文の記述が十分かつ適切であり、規程の様式に沿っている。
- （９）論文の内容は独創性を有し、当該研究分野の発展に寄与するものである。
- （１０）研究の実施、結果の公開において倫理的な配慮がなされている。
- （１１）提出された基礎論文は十分な学術的価値を有し、博士論文との整合性も高い。

【教科書】

使用しない。

【備考】

ヒトを対象とした研究を行う場合は、心理科学研究科倫理委員会の承認を受ける必要がある（但し、文献研究を除く）。また予備発表会、研究成果発表会（本審査）における発表を行い、審査を受ける必要がある。。

【学修の準備】

研究分野に関連する最新の研究領域に係る知見を広げておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて社会に貢献できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

担当教員全員が公認心理師である。

【実務経験を活かした教育内容】

専門職としての実務経験を活かし、臨床現場に即した実践的教育を行う。